

経営比較分析表（令和4年度決算）

秋田県 八峰町

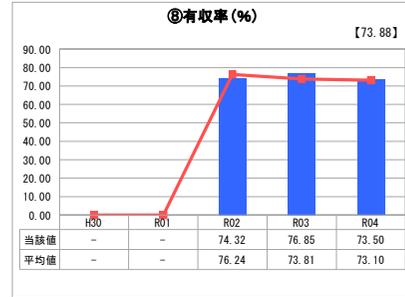
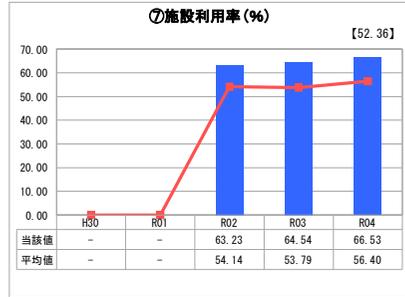
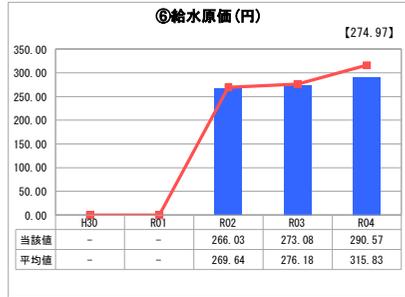
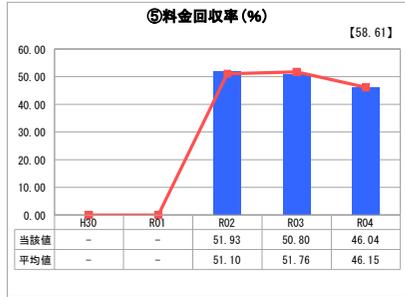
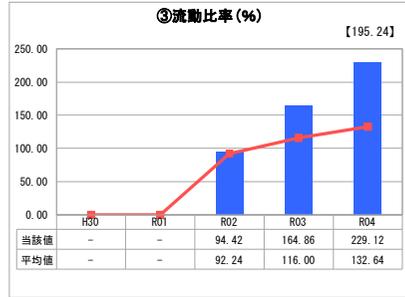
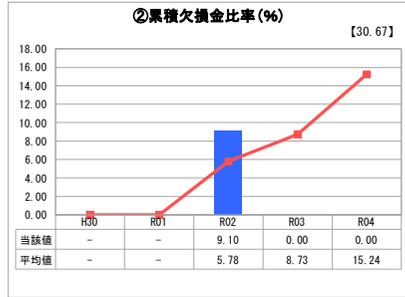
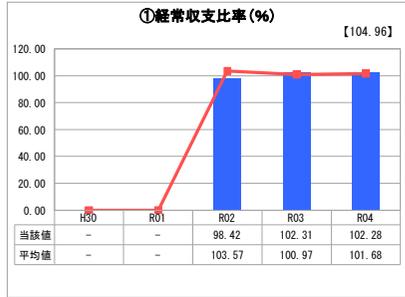
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 法適用 | 水道事業 | 簡易水道事業 | C2 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) | |
| - | 50.00 | 94.04 | 2,530 | |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 6,473 | 234.14 | 27.65 |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km ²) | 給水人口密度(人/km ²) |
| 6,044 | 18.94 | 319.11 |

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

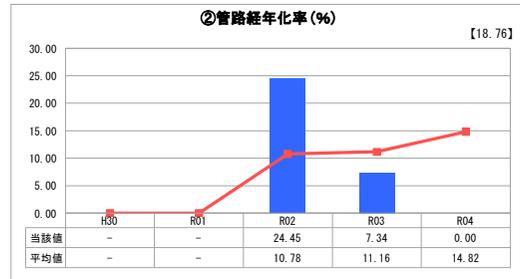
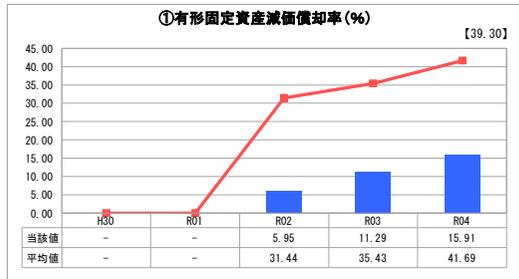
1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率及び料金回収率は類似団体平均並みに推移しているが、今後の人口減少等により悪化が予想されるため、引き続き適正な料金設定による収入確保に努める必要がある。
 累積欠損金の計上はなかった。
 流動比率は類似団体平均を大きく上回る結果となった。
 企業債残高対給水収益比率は類似団体平均並みであるが、給水需要を見極め過剰な投資とならないよう努める必要がある。
 給水原価は類似団体平均を下回る結果となったが、維持管理の節約に努め、原価上昇の抑制に努めなければならない。
 施設利用率は類似団体平均を上回っているが、今後は施設の統合や規模の適正化を図る必要がある。
 有収率は類似団体平均並みで推移しているが、引き続き無収水の原因究明と管路改善に努め、有収率を維持する必要がある。

2. 老朽化の状況について

管路の更新が完了していることにより、経年劣化率は改善しているが、引き続き耐用年数を経過した管路の更新を計画的に実施していく。

2. 老朽化の状況



全体総括

今後は給水人口の減少や老朽化した施設の更新など料金収入の減少や支出の増加が見込まれるため、料金の見直しや維持管理費の節減に努め、持続可能な経営を目指していくことが必要となる。